

保土ヶ谷支部長 中澤道則（S58年卒）

保土ヶ谷区は横浜市のほぼ中央に位置しています。古くは江戸時代、東海道の幕府公認の宿場町として定められて以来400年以上、1927年に横浜市に区として編入されてから今年（2017年）で区制90周年を迎えるという、古い歴史のある町です。北側に国道16号線、南側に国道1号線が東西にはしり、それぞれに並行して流れる帷子川、今井川とその周辺の丘陵地に囲まれた、坂の多い町でもあります。保土ヶ谷宿や権太坂、武相国境など、旧東海道に関わる史跡の他に、暮れの賑わいでお馴染みの洪福寺の松原商店街をはじめとした商業地域、閑静な住宅街など、実に様々な「街の顔」を見せてくれる「保土ヶ谷区」です。（ちなみに保土ヶ谷区の「ヶ」は条例に従って「大きなヶ」であることも覚えておいてほしいところです…。）

そして何よりも保土ヶ谷区は、母校、横浜国立大学のお膝元でもあります。国大の学生さんたちが区内の学校にアシスタントティーチャーとして入る「がやっ子先生」や、同じく学生さん達が企画して子ども達に様々な体験をさせてくれる「わくわくサタデー」「がやっ子探検隊」など、国大と連携した取り組みも数多く進められています。

保土ヶ谷支部には校内会員99名、校外会員61名、合計160名の会員がいます。学校数は小学校20校、中学校8

校に分校が1校、特別支援学校2校。区内には西部学校教育事務所もあり、そこでも会員が活躍しています。しかしながら昨年度は会費会員が全体の20%と、全43支部中、40番目という低組織率で、会費納入者増が支部としての大きな課題となっています。

さて、保土ヶ谷支部では今年度、8月19日、天王町モンテファーレにおいて久しぶりに支部総会を開催しました。参加者は15名と若干、寂しかったですが活動報告や会計報告の他に昭和22年卒の大先輩、角田様のお話を伺う等、和気あいあいとした、且つ充実したひと時を過ごすことができました。下の写真はその折の集合写真です。



会報も12月末までに3号まで発行することができました。現状としては事務的な連絡事項が主となっていますが、今後、会員のコミュニケーションツールとして活用できるよう改善していくことができればと考えています。今後とも保土ヶ谷支部をよろしく願います！